

Gulp仕様書

コマンドプロンプト（ターミナル）を起動しておくこと。

※コマンドは使用しているパッケージマネージャーによって異なります。（npm、yarn等）

※vs codeのターミナルで使用する则楽だと思ひます。

※もしくはAtomのプラグイン。（「gulp-control」を導入）

自動化処理

「default」のタスク名は、「npm run gulp」と入力するだけでOK。

※自動で「browser-sync,pug,sass,画像圧縮」が起動し、監視し続けます。

制作前に設定ファイル（configファイル）を調整の上、上記コマンドを使用してください。

各種タスクについて

画像関連

画像の圧縮

「npm run gulp img_min」

→「config.js」で指定したパスから指定したフォルダへ圧縮。

画像のリサイズ

未実装

※他のツールをインストールしなければいけないため。

CSS関連

CSSの圧縮

「npm run gulp css_min」

→「config.js」で指定したパスから「dist」フォルダへ圧縮。

CSSの整形

「npm run gulp css_comb」

→「config.js」で指定したパスから「dist」フォルダへ整形。

→整形方法は「.csscomb.json」内で設定を行う。

sassのコンパイル

「npm run gulp sass」

→「config.js」で指定したパスから指定したフォルダへコンパイル。

※「Atom」の自動コンパイルと干渉しているので注意。

使用する際はAtomの自動コンパイルの設定をオフへ。

JavaScript関連

JavaScriptの圧縮

「npm run gulp js_min」

→「config.js」で指定したパスから「dist」フォルダへ圧縮。

その他

browser-sync

「npm run gulp bro」

→「config.js」で指定したフォルダ内を常に監視してくれる。